

## ま え が き

あなたも私も幼児教育関係者に限らず、幼児の保護者、否、幼児も子どもも大人も、人の世に生きる人々は、生きてゆく上で、「読み書き算盤」の能力の他に、「もっと大切なこと」が確かにある、とわかっている。その「もっと大切なこと」を敢えて言葉にすると、「礼儀、社会常識、やさしさ、協調性、向上心、積極性、環境適応力、精神的強さ、素直、我慢強さ、自立心、空気を読む力…愛」など、大切なことの細部に目移りして、全体を捉えにくいようです。

私どもは、この「もっと大切なこと」を教育目標「一人一人の幼児が自分なりの力を発揮し、友達とかかわり合いながら生きる力をやしなう」に掲げて日々の保育に取り組む中、「もっと大切なこと」を表す言葉「社会情動的スキル」に出会いました。

本園は今年度令和 2 年度より「幼児期における社会情動的スキルの発達」を研究テーマとします。「社会情動的スキル」に近い言葉として「社会情動的能力」「非認知的能力」「社会情動的なコンピテンス」があります。研究初年度の今年度は、まず本園教職員における「社会情動的スキル」の共通理解、事例収集に取り組みます。

今年度幼児教育研究会では保育公開、年齢別分科会、研究発表、講演を通じて、「社会情動的スキル」を捉えてまいります。新型コロナウイルス感染予防のため、午後の研究発表、講演会と質疑応答はオンラインも活用して行います。ご不便をおかけいたします。忌憚のないご意見、ご示唆をいただきましたら幸いです。

最後に、熱心なご指導をいただきました諸先生方をはじめ、ご多用の中ご参会いただきました皆様に心より御礼を申し上げ、ご挨拶といたします。

令和 2 年 10 月

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園長 鷲山 靖